

森林隊通信

(写真：小菅村内 サラサドウダン 2021.5.26)

日差しや気温に初夏を感じるようになってまいりました。皆さまはいかがお過ごしでしょうか。森林隊は、活動再開から約2か月が経過し、毎回多くの方に参加していただいている状況です。今回の森林隊通信では、主に今後の活動予定と4～5月の活動成果について紹介します。

今後の活動予定

参加人数の上限緩和
予約が取りやすくなります。

10名 ⇒ **16名**

5月26日(木)の活動より**活動参加人数の上限を16名**としました。活動再開から予約が取りにくい状況が続いておりましたが、改善される見込みです。予約が取れなかった皆さまには、ご迷惑をおかけいたしました。現在の申込状況は、「活動予定表・申込状況」でお知らせしておりますのでご確認ください。

今年度の間伐予定
おすすめは、大白沢地区です。

- 1 山梨県小菅村平山1地区
小菅村の主要地区を一望できる三ツ子山の北側斜面です。降車後20分程登ります。6～7月にかけて作業予定です。
- 2 山梨県小菅村大白沢1・2地区
8～9月にかけて作業予定です。夏の最盛期ですが、作業条件が易しいので初心者向けです。大白沢の写真や紹介は、令和3年度1号の森林隊通信に詳しく書いてますので、そちらもご覧ください！↓



新しい活動地について

面積：約4.3ha 予定作業：道づくり、間伐、修訂
 車道から近く、傾斜もなだらかです。比較的、木は小さめで作業がしやすいです。初めてのな、久しぶりの方には、ピッタリの活動地になっています。

4～5月中の活動状況

初心者多数参加中
始めるなら、今がチャンス！

初心者歓迎



4月、5月の初心者参加率は、20%を超えていました。

平均すると各回2名の初心者が参加していたことになります。

「不慣れで迷惑をかけてしまうのでは」「一人になったらどうしよう」と参加を迷っている方もこの機会に参加してみてもいいのではないでしょうか。



今までやったことないし、技術的に覚えられるか不安だな。



普段はデスクワークで、体力的についていけないか不安です。



森林隊では、経験豊富な指導員が丁寧に技術指導します。ノルマもないので、それぞれの技術や体力に合わせて作業に取組めます。下に初心者への技術指導の一例を紹介します。

【指導例】～間伐の場合～

間伐は、暗い森に光を取り入れるために、生育の悪い木などを抜き切りする作業です。



宇賀地 指導員

オレンジのシャツがトレードマークで、初参加の方を担当することが多いです。

ノコギリで切る位置をチョークで説明しています。



倒す際には、必ずロープを使用することで事故が発生しないようにしています。

加えて、滑車を使うことで

「ロープを引く方向」と「木が倒れる方向」が逆になるため、安全に作業ができます。

小菅村 沢入地区 作業完了 とても明るくなりました。

4月いっぱいまで作業の完了した沢入地区では、間伐と枝打を行いました。間伐に加え、枝打を行うことで地面までより多くの光が届くようになり、草や低木の成長を助けます。



↑左側が「作業前」、右側が「作業後」です。比較すると、地面に光が差し込んでいるのがよくわかります。



↑ミツバツツジがありました。沢入地区の周囲は広葉樹の森に囲まれているので、様々な種類の樹木の成長が期待できます。

将来の姿 イメージを紹介します



作業後に地面に見える緑は、枝打で取り除いた枝葉になります。今後、地面に差し込む光を受けて、森林内に低木や草が生え、成長することで緑豊かな人工林へと徐々に変わっていきます。地面を緑が覆うことで、雨が降っても土が流されにくくなり、たくさんの水を蓄えられる森林となっていきます。今後どのように変わっていくのか、とても楽しみです。

沢入地区の枝打作業にはのべ329人の方にご参加いただきました。皆さまが一本一本丁寧に作業をしていただいたおかげで、見違えるほど明るくなりました。ご協力ありがとうございました。

